

特別養護老人ホーム 溪山荘

(併設事業所) 溪山荘ショートステイ
溪山荘デイサービスセンター

特別養護老人ホーム 第2溪山荘ぼっぼ

(併設事業所) 第2溪山荘ぼっぼショートステイ
第2溪山荘ぼっぼデイサービスセンター
養護老人ホーム 萩の苑
敬仁会ヘルパーステーション
敬仁会24訪問看護ステーション

地域密着型特別養護老人ホーム 第3溪山荘あおぞら

(併設事業所) 第3溪山荘あおぞらショートステイ
第3溪山荘あおぞらデイサービスセンター
社会参加型通所介護ネイバース

あかり苑・あゆみ

グループホーム あかり苑
小規模多機能型居宅介護 あゆみ

ひなた・いっぷく

グループホーム ひなた
小規模多機能型居宅介護 いっぷく

グループホーム まんさく

福祉サービス事業所 野坂の郷

就労継続支援B型
生活介護
特定相談支援フラット

敦賀市立子ども発達支援センター バラレル

児童発達支援
放課後等デイサービス
保育所等訪問支援
障害児相談支援

福井県発達障がい児者支援センター スクラム福井

発達障害児相談・就労支援
小児慢性特定疾病児童等自立支援相談所

神宮前ぼっぼ

企業主導型保育園
放課後等デイサービス

歯科診療所 ななクリニック

敬仁会 介護相談センター

敬仁会 法人本部



第2溪山荘
ぼっぼ



第3溪山荘
あおぞら



グループホーム
まんさく



野坂の郷

KEIJINKAI
Social Welfare Corporation
Since1986

KEIJINKAI
JINKAI
社会福祉法人 敬仁会事業報告
2024



☑ 理事長挨拶

初代理事長が示した理念の一部に、次の一文があります。

「長年に亘って、国家や社会、家庭の発展・礎のために多大の貢献をされてきた高齢者に対して、心から敬意を表し、敬愛し、尊厳のある生活の実現を目指します。」

文言的に高齢者福祉に特化した文章であり、現在、高齢者福祉の他に歯科診療所・障がい福祉事業・保育園事業を運営するに至り、敬仁会の理念は、「困っているを支えるために」に変更されました。

しかし、冒頭の一文は高齢者福祉に限らず、あらゆる福祉を支える基礎となる考え方です。

何かに困って敬仁会を利用されているすべての人の人生には意味がある。

だからこそ、心から敬意を表し、敬愛し、尊厳を守る。

職員一同、この思いを胸に事業運営に邁進していく所存です。

社会福祉法人 敬仁会

理事長 神谷 敬一郎

☑ 今年度の事業経過報告

当法人は現在、高齢者福祉・障害（児）者福祉・児童福祉の三大福祉のほか歯科医療を含む 39 事業を運営いたしております。近年、介護保険事業を主軸とする社会福祉法人の経営難が深刻さを増してきております。その原因は介護保険制度が 急激な高齢化に対応しきれていないことによると考えられます。当法人では昭和 61 年の開所から経営面にもしっかりと取組み黒字経営を続けているところですが、改善の余地が大いにあることは事実です。

そこで今年度の事業目標として、将来に向かって事業が安定的に継続できるよう「サービスの改善・向上」、「財務の体質改善」を掲げました。その実現に向け、外部有識者の助力も得つつ、事業の改善向上に努めてまいりました。年間 6 回のリーダー職員等の実践的な教育と幹部職員との進捗確認等の打ち合わせをしながら進めてまいりました。11 月に、指導研修を受けたリーダー・幹部職員による最終報告会が開催され、今年度の各事業の中間実績報告と次年度の取り組みに対しての発表会を実施しました。その発表で示されたデータから判断すると、今年度のサービス改善及び財務改善については相当進んでいることがわかりました。いくら優秀なコンサルを入れようと、我々敬仁会、現場の職員の主体的な努力がなければ実現できなかった成果です。今年度末には目標が達成できるよう引き続き努力していきたいと存じます。

社会福祉法人 敬仁会

常務理事 櫻井 誓行

目次

理事長挨拶・今年度の事業経過報告	02
敬仁会トップニュース	03
敬仁会のとりくみ	05
事業報告	
溪山荘	07
第 2 溪山荘ぼっぼ	08
第 3 溪山荘あおぞら	11
あかり苑・あゆみ	13
ひなた・いっぷく	14
まんさく	15
野坂の郷	16
特定相談支援フラット	17
敦賀市子ども発達支援センター パラレル	17
福井県発達障がい児者支援センター スクラム福井	19
神宮前ぼっぼ	20
歯科診療所ななクリニック	21
敬仁会 介護相談センター	22
敬仁会 法人本部	22
未来へつなぐストーリー	23
令和 6 年度 法人決算報告	25
寄付等	27

☑ 敬仁会 トップニュース

NEWS 01

グループホーム まんさくが開所しました！

グループホーム まんさく



「木々の芽吹きも始まらない季節に黄色の花を咲かせ、いち早く春の訪れを告げる、花言葉で幸せの再来を意味する“まんさくの花”」があります。令和6年3月31日に敬仁会では3か所目となる認知症グループホームが開所いたしました。

施設は敦賀市の粟野地区、最高峰である野坂岳が一望、市民農園が広がる長閑な田園と新興住宅に面した場所に立地。建物はできる限り施設感をなくし、昔住んでいた自分の家で生活しているような、どこか懐かしさを感じられる佇まい。また、機能面では職員間の連携や記録、ナースコール対応をリアルタイムに行える最新の情報通信技術を取り入れています。施設の敷地内には近隣住民の方々が自由に使用できる「まんさく広場」があり、子どもたちの遊び場や親御様の憩いの空間として活用されています。近隣住民の方には「夜も施設の明かりが外にもれて散歩も怖くなくなった。」「景色がよかった。」と喜びの声をいただきました。

入居される高齢者の方におかれましては、ひととひととのぬくもりを感じ、長閑な景色や芝生で遊ぶ子どもたちの風景や声で生活に潤いが得られ、たくさんの笑顔がみられるようになりました。これからも、“しあわせな暮らしの再来”である「まんさくの花」のように光輝く日々をお過ごしいただけるように、職員一同、精進してまいりたいと考えております。

NEWS 02

就労支援事業、拡大中です！

野坂の郷



平均工賃月額 35,000 円を目指して

『自分で稼いだお金で、おいしいものを食べ、ゲーム機や本など好きなものを買いたい』という思いは、障がいがある方もない方も、誰もが持っているものです。その思いを少しでも支援できたらと取り組んでいるのが、野坂の郷の就労継続支援 B 型です。就労継続支援 B 型は、障害者総合支援法に基づいた就労系福祉サービスの一つで、障がいや病気などで一般就労が困難な方を対象に、軽作業などの就労機会や就労訓練などを提供し、働いた対価として工賃をお支払いしています。令和6年度の平均月額工賃は「30,083 円」でした。



クリーニング事業の開始

2024 年度のヤマト福祉財団の助成金を頂き、洗濯機 2 台と乾燥機 2 台を整備し、クリーニング事業を開始しました。洗濯は、日々の生活に欠かせないものですので、障がいのある方も作業内容がイメージしやすく、「汚れたものを綺麗にする」という達成感があります。洗濯物の主な内容が、法人内の高齢者入所施設の私物のため、入居者の方々の衛生面の保証や、気持ちの良い毎日を過ごしていただくための大切な事業と捉えて、日々の業務に取り組んでいます。

NEWS 03

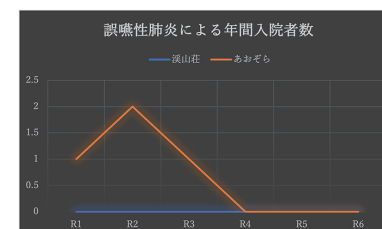
誤嚥性肺炎の予防と口腔ケアに取り組んでいます！

ななクリニック

歯科診療所ななクリニックは当法人の各施設において、誤嚥性肺炎の減少を目指すことを使命の一つとし、訪問診療に取り組んでいます。誤嚥性肺炎に起因する入院生活によって A D L や認知機能の低下を進行させる可能性があることから大事な取り組みと考えております。

具体的には、最後までお口から安全に食べていただくために口腔機能の維持を目指した訓練を織り交ぜながらの口腔ケア・歯科治療、各施設の介護職員と連携を図り食環境や口腔ケアに関する環境の整備等を行っております。当院が各施設の担当をさせていただくこととなって以来、誤嚥性肺炎による入院数がゼロとなった年も多く、2人未満を維持してきております。それ以前は年間10人以上という状態だったことを考えると口腔ケアに対する意識改革、手技の見直し等を繰り返してきたことの成果が現れているのではないかと感じております。

一般的には密な連携を図ることが少ない歯科 × 介護の連携を今後も継続し、全国的にも誇れるこの水準を長期に渡り、さらに全施設において実現したいと考えております。



誤嚥性肺炎とは：

口の中の細菌が唾液や食べ物と一緒に誤嚥され、気管支や肺に入ることによって生じる肺炎。令和4年における死因の6位となっており、特に嚥下機能の低下した高齢者や脳梗塞後遺症や神経疾患を抱えている方に多く発生しやすい。口腔ケアにより口の中の細菌数の減少が期待でき、万一、唾などを誤嚥したとしても肺炎発症頻度を低下させることが可能となる。

☑ 敬仁会のとりくみ

インストラクター



教育専任インストラクターの配置

敬仁会では教育専任のインストラクターを配置しています。現在3人体制で、主に新しく入った職員の最初の研修を担当しています。シフトに入りながら教える方法をとる会社はよくありますが、こうして教育専任でインストラクターが配置されているのは、介護の業界では珍しい取り組みです。敬仁会では法人全体で年間の研修スケジュールを策定しており、インストラクターはその企画・運営・更新が主な役割です。また、資格取得へのサポートも大事な仕事です。



介護福祉士国家試験合格 100%を目指して

私たちは、介護未経験で入られる方の不安が、少しでも軽減すればという思いで、実際に介護の基本的な知識や技術をその人に合わせた指導・サポートを行っています。そのサポートの一つに、介護福祉士国家試験対策があります。介護の知識をはじめ13の分野から125問出題されるので、継続的に勉強してもらわないと簡単には合格できません。その為、受験者の負担を少しでも減らすよう模擬問題を毎週提供して、合格を目指しています。職員には日本人だけではなく中国・タイ・ベトナム等の外国人も同じ試験に挑戦します。共に頑張る仲間もあり、刺激を受けながら取り組んでいます。ですから、無資格者・未経験者も安心してください！大歓迎です！毎年3月には合格に喜ぶみんなの笑顔が、私たちの励みとなっています。

自立支援



歩行練習



体が不自由でも移動リフトでトイレ



イベント食（流しそうめん）

敬仁会では、平成16年から自立支援「おむつゼロ作戦」「常食化プロジェクト」を立ち上げ、「歩行ケアの自立支援」に取り組み、現在に至るまで、進化していく基礎知識・技術を学びながら実践しています。

近年では、健康の3要素である「食事」「運動」「睡眠」に注目し、介護機器やIoTを活用して「十分な栄養摂取」「歩行を主とした運動」「良質な睡眠」となるよう関連部署と連携を図り取り組んだ結果、おむつゼロの達成や、ADL（日常生活動作）が改善され自立した生活を獲得された事例も出てきています。体が不自由で動かすことが出来ない方が「トイレで排泄がしたい」との想いをかなえるため、移動リフトでトイレでの排泄が達成されました。また、看取りで余命わずかの方が献身的に水分・栄養を中心とした介護を行った結果、健康を取り戻し入居者の皆さんとイベント食と一緒に食べるまで回復、さらに認知症状が改善し皆さんと楽しく過ごされるケースが多く見られています。

このように、課題を解決して行くことで、ご利用者が元気を取り戻され、再び笑顔が戻った状態を拝見すると、自立支援の取り組みを行って本当に良かった、これが新しい介護の世界だと「介護の醍醐味」を感じることができます。これからも自立支援を実践し、お一人でも多くのご利用者が尊厳のある快適な生活を送っていただけるよう取り組んでいきます。

福利厚生

職員の幸せが法人の発展に

敬仁会の理念は「地域の困っている」を支えること。この理念を実現するためには、支える側である職員自身が困っていないは他の「困っている」を支えることは出来ません。敬仁会では働く職員の無用なストレスを軽減し、職員が「困っている」をしっかり支えることが出来るように職員の声に耳を傾け様々な福利厚生等の施策を打ち、職員が安心して働ける環境を提供出来るよう努めています。

「さあ、人生を楽しもう！」

敬仁会には「さあ、人生を楽しもう！」というキャッチフレーズがあります。これはご利用者、職員、その家族等、敬仁会に関わる全ての方の人生が豊かで楽しいものになるようにとの願いを込めたキャッチフレーズです。職員にはオンとオフを切り替えて自身の家族・プライベートを大切にしてほしいと考えています。その為にも出来るだけ残業を少なくする取組等を行っています。

1か月の平均残業時間

2.4時間/月（全国平均10時間/月）

有休消化率

70.9%（全国平均58.3%）



女性活躍推進企業

敬仁会は福井県より「女性活躍推進企業」に認定されています。女性管理職等様々なポジションで女性が活躍しています。また企業主導型保育所も開園し、女性だけでなく子育て世代が働きやすい環境を整えています。



様々な社内外イベント企画

職員間の交流を図るため様々な社内イベントを企画したり社外イベントに参加したりしています。もちろん参加は個人の自由。例えば、長野県へのスキー・スノーボード旅行の実施や福井ユナイテッド主催のフットサル大会への参加、ボーリング大会の企画など。法人からの助成金等もありお得に楽しんでいます！

事業報告

今年度の取り組みを「種をまく」「芽が出る」「花が咲く」の3段階で紹介します。

種をまく … 始めたばかりの取り組み

芽が出る … 継続している取り組みの経過

花が咲く … 取り組みの成果

溪山荘

特別養護老人ホーム 溪山荘

特別養護老人ホーム溪山荘は、常に介護を必要とする人に対し、日常生活を送られる中で必要な支援、自立支援を目的とするケアプランに沿った入浴や食事、排泄や機能訓練といった介護サービスの提供を行っている公的施設で、略して「特養（とくよう）」とも呼ばれています。24 時間体制の介護で、ご本人とご家族のご希望があれば、お看取りまでの介護サービスの提供が可能な施設です。溪山荘は、個室と多床室が混在している「従来型特養」でもあります。法人の中で初めに開所した溪山荘、今年で 38 周年を迎えます。これまでお支え頂いた様々な方々への感謝の気持ちを忘れずに、目の前のご利用者・ご家族の皆様に少しでもご安心ご満足いただけるよう、職員一同、一生懸命に励んでいます。



誤嚥性肺炎発症者 0 件

当法人の歯科診療所「ななクリニック」の院長をはじめ歯科衛生士による訪問歯科で、ご利用者の皆様に対する口腔ケア指導を受けています。日頃からの口腔ケア指導と、歯科診療所との連携を強化することで、職員の口腔ケアへの意識も高まり、誤嚥性肺炎を発症されるご利用者は 2 年連続で 0 件でした。自立支援の柱になる「身体の安定」の取り組みの一つとして、歯科診療所との連携を図りながら、誤嚥性肺炎の発症 0 を継続していきます。



ご満足いただける利用者本位を目指して

私たちは、季節やご利用者のご希望に合わせて外出援助を実施しています。外出には気分転換や社会交流などの目的は様々にありますが、昨年度より看取りケアのご利用者及びご家族に対し、ご自宅への外出援助を個別支援として積極的に取り組んでいます。ご自宅には、目が見えなくても生活の匂いは残っています。その家には人生のあゆみが残っています。ご利用者が感じるものがその空間には残っています。そこに一歩踏み入ると、普段私たちが知ることの出来ない、家族の絆、地域とのつながり、何よりもご利用者の安堵感を感じることができます。ご仏壇の前で手を合わせ、そっと目を閉じられるご利用者の姿、私たち職員は「利用者本位」という本質的な意味を考えさせられます。この取り組みを通して、ご家族と地域の皆様と共に、ご利用者の想いと向き合い、少しでもご利用者にご満足いただける「利用者本位」を目指して外出援助を継続していきたく思います。

溪山荘 ショートステイ

溪山荘ショートステイは、要支援、要介護の認定を受けられている方が、短期的に施設へ入所し生活支援や身体介護、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリなどを受けられるサービスです。認知症がある方や寝たきりの方もおられます。ご家族の所用時や在宅介護の負担軽減、一人暮らしが困難になった際に一時的に生活の場とする等、様々な利用の仕方があります。お困り事がありましたら、お気軽にご相談下さい。



毎日のリハビリ体操・機能訓練が日課です！

溪山荘ショートステイでは【個別機能訓練加算】の算定をしております。時間になるとご利用者の皆様がホールに出てきて下さり、全身を動かすリハビリ体操を行っています。また、個別の目標に沿った機能訓練では、自分で食事を続けたい方には口腔体操、家の近所を散歩したい方には歩行訓練や足踏み運動、他者とコミュニケーションをとれるようになりたい方には発語訓練、認知機能低下を防ぐ脳トレーニング等、ご利用者の「こうなりたい。」「これがしたい。」という思いの実現を目指して日々取り組んでおり、これらの取り組みが、ご利用者の皆様の、少しでも長い住み慣れた地域での生活の維持につながればと考えています。

溪山荘 デイサービスセンター

溪山荘デイサービスセンターは、要支援・要介護の認定を受けられ、在宅で生活されている方がご利用する通いの場です。市内を一望でき、春夏秋冬を感じられる場所で、介護、看護、機能訓練の専門職がチーム一丸となって支援をさせていただいています。特に天然温泉での入浴は大好評です。少しぬめりのある温泉の性質で、お肌がつるつるになり、保湿・保温効果が抜群なことから、ご利用者の皆様も大変喜ばれています。初代理事長の法人設立理由の一つである「温泉を使い、高齢者の皆様に幸せになって頂きたい」という想いを継承し、新しい取り組みを取り入れながら、ご利用者の皆様に「来て良かった」と感じていただけるよう毎日のサービス提供に努めています。



当たり前を支援する外出支援

ある日、ご利用者と職員の会話の中で、新聞のチラシを見ながら、「ここに食べにいったい」、「自分の目で見たい物がしたい」との声がありました。ご希望を叶えていただくことが出来ればと、職員の思いから始まった外出支援です。実際にメニューを見て、商品を選択され、ご自身の商品の支払いをご自身で行うという、生活の中で「当たり前」の行為が、高齢になることで様々な阻害要因が出現し出来なくなってくる現実。溪山荘デイサービスセンターに来て下さる事で、行きたい時に、行きたい場所へ、行きたい仲間と外出する機会を計画しご支援することで、高齢になっても「当たり前」がそこに存在する、そんな場面を少しでも多くご支援していきます。



ご本人と向き合い、仲間と共に行う機能訓練

機能訓練は、日常生活に必要な身体機能の維持・向上を目的に、ご利用者一人一人に合わせたプログラムを組み、サービス提供を行っています。お身体の悩みや苦痛があれば、真摯に対応し、ご自宅でできる運動のご提案もいたします。慣れ親しんだ仲間や新しい友人と共に取り組むことで、会話が弾み、笑顔あふれる環境が生まれ、機能訓練にも相乗効果が生まれています。また、日頃の機能訓練の取り組みの成果を、定期的な体力評価をすることで「見える化」し、ご利用者の更なる意欲向上につなげたいと考えています。

第2溪山荘ぽっぽ

特別養護老人ホーム 第2溪山荘ぽっぽ

第2 溪山荘ぽっぽは、認知症などの常時介護が必要な方が入所し、24 時間365 日介護を受けることができる、明るく家庭的な雰囲気ユニット型施設です。当施設は JR 敦賀駅に隣接しており、市内の方はもちろん、市外、県外のご家族の方々も訪問しやすい環境にあります。そして、入居者の方の自立や認知症へ支援する取り組みに力を入れています。質の高い支援ができるよう日々の経験の積み重ねに加え、委員会や研修などを通して専門性の向上に努めています。



自然な排便を目指して

当施設は長年おむつ外しに取り組み、令和6年度はおむつ使用者が70名中9名(12.9%)、でスタートしました。おむつ使用者の方を検証した結果、下剤の使用が原因だと分かりました。下剤の使用は、脱水や電解質異常をきたし健康に様々な悪影響を及ぼす恐れがあるため下剤を使用しない排便ケアが必要です。現在も70名中28名40%の方が下剤を使用している状況にあります。単に下剤を止めるだけでは解決しないため、まずは排泄ケアの基本(運動、食事、水分ケア)に立ち戻ると共に、新たな取り組みとしてオリゴ糖、ルイボスティ、豆乳などの摂取による腸への働きかけを行った結果、おむつ使用者が70名中3名(4.2%)、下剤を使用している方が70名中23名(32.9%)となりました。目標値には達成せずに終わりましたが、医師や看護師、栄養士など職種に意見をもらいながら取り組みを行い、令和7年度はおむつ使用者3%以下、下剤使用者20%以下を目指して取り組みを継続していきたく思います。



第2 溪山荘ぽっぽ ショートステイ

ぽっぽショートステイは要支援1～2、要介護1～5の認定を受けられた方を対象に、当月より3か月先までのご利用予約を承っております。主なサービスとして、食事・栄養面の管理や排泄・入浴等の身体保清の支援、身体機能維持向上のための体操や運動等を実施しております。ご本人・ご家族のご都合に合わせて、担当相談員が随時利用日時を調整しており、突然のご用命や緊急での受け入れに関しましても、できる限り対応いたします。



皆様に信頼され、愛される事業所となるように

年号が平成から令和に代わって以降、世界的なコロナ禍という未曾有のパンデミックに見舞われながらも、皆様のご愛顧に支えられ、この令和6年度を迎えることができました。令和元年度末時点で、月平均の利用登録者数 32.16 名だった当事業所も、令和6年度末時点では 49.66 名と、着実に利用実績を増やしてきており、我々の活動が、皆様の暮らしのなかで徐々に認知され、これまで積み重ねてきたこの土台から、ようやく芽が出始めたのを実感しております。この小さな芽を、枯らすことなく皆様と共に大切に育てあげ、大きな花として咲かせられるよう、今後も我々にできること・お役に立てることを常に考えながら、精進を重ねて参りたいと思います。

第2 溪山荘ぽっぽ デイサービスセンター

当事業所は、敦賀市内の要支援・介護者の方を対象に、自宅での生活において自立した日常生活を送れるよう入浴、排せつ、食事等のお世話や機能訓練を行っています。他者との交流に重点を置き、リハビリでも話をしながらできるように工夫したり、空いた時間でもトランプや歌唱やオセロなどを通じて交流を図って頂けるよう配慮しております。初めて来られた方が不安にならないよう職員一同取り組んでおりますので、いつでもデイサービスのご利用をお待ちしています。



今日も楽しかった、をたくさん感じて頂けるように

「だいぶ駅前が賑やかになったけど、なかなか行けないわね」とのお声をたくさん頂くようになりました。そんな思いに応えるべく、新しく生まれ変わった駅前地域への外出やリハビリを兼ねた散策など、地域交流を含めた活動を行い、「今日も楽しかった」をたくさん感じて頂けるよう取り組んでいます。また、いくつになっても新しい体験をして頂きたいという思いから、リラクゼーション・楽器レクリエーション・リレーゲームなど新しい様々なレクリエーションプログラムを日々考え、楽しんで頂いています。



養護老人ホーム 萩の苑

養護老人ホームは、経済的理由や自宅での生活が困難な高齢者に対して支援を提供することを目的とし、基本的には65歳以上の高齢者が対象で、日常生活がある程度できるものの、支援が必要な高齢者を対象としています。市町の福祉課へ相談をしていただき、入所申請となります。



保育園児との交流で意欲的に

昨年より保育園児の方との交流が始まり、手始めにジャガイモの苗を植えることになりました。ご利用者の皆様には苗を植えやすいように畑の畝作りから肥料巻きまでをお願いし、園児の方にはジャガイモの苗植えを頑張ってくださいました。枯らさないように水やりもご利用者の皆様をお願いをしました。園児とのかかわりの中、ご利用者の皆様が意欲をもって頑張ってくださいています。役割を持つことの大切さを感じます。今後も交流が継続できるようにしていきたいと思っています。

敬仁会 ヘルパーステーション

当事業所では、住み慣れた家で生活できるよう、いつもの光景を眺め、見慣れた人に囲まれながら、使い慣れたものを使用し、ゆっくり時間の流れを楽しむ 支援を心がけています。全国的に訪問介護事業所の廃業数が増加傾向にあるなか、敬仁会では訪問介護事業を必要な介護サービスと位置付けており、R5 年 11 月より障害サービスの更なる拡充を行いました。昨年は一部スタッフの変更もあり試行錯誤の年ではありましたが、様々なニーズに対応できる体制を整えていきたいと思っています。



障害サービスの幅を広げました

障害者総合支援に切り替え、今まであった身体介護・家事援助に、同行援護、移動支援がプラスされました。できる支援が増え、より皆様のご要望にお答えできるようになりました。この切り替えにより、ご利用者と行政のサービスを利用して、今まで我慢してきた思いを実現していくことで、職員の仕事に対する熱意も増えています。

紹介先、ご利用者数を増やす取り組み

紹介先、ご利用者数を増やす取り組みを行ってきました。
R3末 21先 26名 R4末 24先 48名
R5末 28先 49名 R6末 25先 62名
徐々にではありますが結果が出始めており、60名突破を目指して頑張っています。

敬仁会 24 訪問看護ステーション

訪問看護とは、小児から高齢者まで幅広く病気や障がいを持たれた方が、住み慣れた家で生活が継続できるよう、ご自宅等に伺い専門的なケアを提供するサービスの1つです。主治医が作成する訪問看護指示書に基づき看護師や理学療法士が健康状態のチェックや療養の相談、リハビリ、医療処置などを行います。さまざまな職種の方と連携を取りながら、ご利用者やご家族の皆様が安心して生活していただけるよう支援を行っています。



在宅生活を続けるための取り組み

当事業所では 病気や障がいがあってもご利用者その人なりの最も健康的で質の高い生活を1日でも長く続けられるよう支援しています。

- ①ご利用者に話をしてもらう…ご利用者が病気や生活の中で感じてる不安や悩み事を傾聴・共感し精神的な安定をはかれるよう支援しています。
- ②ご利用者の「できること」を続けてもらう…自立した生活を続けるために能力を見極め 「できないこと」に対しては環境や生活を整え少しでもできるようになるようまた、ご利用者の「やりたいこと」を続けられるようリハビリテーションを意識し ADL/IADL の維持・向上に心がけています。
- ③ご利用者自身で体調の管理ができるようにする…訪問看護で関わる時間は短いため、普段の日常生活の中でご自身が体調管理ができるように 身体面・生活面・食事面など多方面から意識付けを行っています。

第3 溪山荘あおぞら

地域密着型特別養護老人ホーム 第3 溪山荘あおぞら

原則、要介護度3以上の方を対象とした施設で、定員29名の小規模老人ホームです。

残存機能を生かした穏やかな生活を送っていただくために、「オムツゼロ」、「100%口腔ケア」の取り組みに力を入れています。また、地域の福祉拠点として地域の「困った・・・」を支援させていただいております。



インストラクター挨拶

私は第3 溪山荘あおぞらで新しくインストラクターへ就任致しました竜門尚子と申します。これからの介護はご利用者様が地域で生きていく為に我々は何が出来るかを考える事が大事であると考えます。その為に自立支援介護の考え方を軸にお一人お一人に寄り添い必要なサービスを提供する事を目指すことで信頼を勝ち取っていきたくと思っています。同時に今後求められる接遇の変化に対応する為、【介護に特化した接遇】を大きな柱としご満足頂けるサービスを目指していきます。どうぞよろしくお願い致します。



介護の専門性を活かして

以下、I様のケースを通じて、ご本人の気持ちに寄り添った介護とはどういったものかをチーム一同、肌感覚で勉強することができました。

○平成31年1月:入居 散歩や機能訓練など積極的に取り組まれる。

○令和3年3月:誤嚥性肺炎で1か月の入院→退院後、歩行不可、車椅子生活となる。食欲低下、便秘傾向、意欲の低下が徐々に表れる。

○令和3年6月:アセスメントの結果、歩行を取り戻すことが可能と判断しチームケア開始。試行錯誤しながら着実に実施。

○令和4年8月:歩行器での歩行が可能に、それに伴い上記症状の緩和が見られ始める。歩行器なしでの歩行を目標に。焦らずチームケア実施。

○令和7年1月:歩行器なしの歩行が可能に、上記症状の緩和が加速。

★転倒リスクと歩行の可能性とご本人の気持ちにチームでしっかりと向き合い、令和3年6月に決断できたことが大きな分岐点となったケース。

第3 溪山荘あおぞら ショートステイ

ショートステイとは、1泊～数泊、施設にお越いただき、食事や入浴等を受けていただく介護サービスです。あおぞらショートステイでは、理学療法士による機能訓練を受けていただくことが可能です。お身体の不調個所や、ご自宅での生活でのお困りごとに沿った機能訓練を提供いたします。

その他、施設でのアクティビティや体操に積極的に参加いただくのもよし、お一人でゆっくりと過ごしていただくのもよしと、ご本人の意思を尊重したサービス提供に努めています。



ご家族の介護負担軽減が、もっと実感できるように

令和6年4月より、あおぞらショートステイに理学療法士が配属されました。ご自宅での生活が継続できるよう、またご本人様の出来ることを、個別機能訓練を通して支援していきたいと思ひます。以下、S様の事例を通じてご本人の思い、ご家族の思いを汲み取った介護をすることで、満足していただけたことに、チームのモチベーションが上がったケースをご紹介します。○令和6年12月:医療機関よりあおぞらショートステイ利用。91歳の女性、脳梗塞により軽度の右麻痺の症状あり。脳梗塞での入院中、車椅子生活になってしまいましたが、本人様の歩きたいという気持ちと、ご家族の、自宅に帰り孫やひ孫と会わせたいという思いを受けて、個別機能訓練を計画。○令和7年1月初旬:移動は、歩行器で歩いていただくことや、車の乗り降り、自宅玄関への階段昇降を想定し、段差昇降訓練実施。○令和7年1月下旬:当初は職員の付き添いで歩いておられましたが、現在は見守りのみで歩行器を使用し歩いておられます。そして、今では定期的にお孫さんやひ孫さんと会う機会を持ち続けておられます。

第3 溪山荘あおぞら デイサービスセンター

あおぞらデイサービスセンターは、早くから口腔機能向上の重要性に注目し、口腔ケアに取り組んできました。ひとたび口腔に意識を向けると、自宅では十分なケアが実施できないご家庭も多いことがわかり、現在では多くの方がこのサービスを希望されるようになっていきました。「健康はお口から」という言葉も耳慣れてきた今日、あおぞらデイサービスセンターと一緒に、お口から健康に。



個別機能訓練で個々が望む健康へ

機能訓練で何を目標とするか。痛みが軽くなること。立てること。そして自分の足で歩き続けること。長年酷使してきた体で様々な目標に向かっていくには、厳しい訓練だけではなく、労りや、前向きな活力がプラスされるべきと考えます。理学療法士指導の効果的な訓練の間に、マッサージ器具を使用し友と世間話をしながらホッと心と体が前向きに。



ケアプランを丁寧に

自法人居宅のケアマネジャーとの定期的な意見交換を開始、また他事業所のケアマネジャーにも直接ご意見をお聞きました。ケアマネジャーのご利用者に対する強い思い、事業所に対する思いを聞き、私たちはその思いが形になったケアプランを丁寧に受け止めるべきと改めて痛感しました。ケアプランに沿ってできることを真剣に考え、そしてフィードバックを丁寧に。これからもケアマネジャーとの意見交換を継続していきます。

社会参加型通所介護ネイバース

まつデイサービスセンターは、令和7年6月1日、社会参加型通所介護「ネイバース」として、新たにリニューアルしました。認知症対応型通所介護でもあり、従来から実施している入浴や機能訓練、口腔機能向上のサービス、認知症の方々への専門的対応を実施しながら、新しく社会参加に向けての取り組みを行い、個々に合わせた活動を実施していきます。



社会参加への取り組み

認知症をお持ちの方であっても、できることを探し、挑戦し、社会に関わっていくことは、人として生きていく上での活力となります。そのために私たちがすべきことは、ご利用者と共に、何ができるか模索し考えること。認知症の方々がどのように社会と関わっていくことが必要か、何をすることでご利用者の目に力を宿すことができるのか。本気で考え、挑戦していきたいと考えています。まずは身近なことから。社会活動第1弾として、敬仁会の各拠点に協力をいただき、ご利用者の得意な裁縫を活かして雑巾を作成し、販売へ。それぞれの拠点で活動に賛同いただいた職員の方々からは、温かい言葉と沢山のタオルの寄付がありました。当のご利用者は寄付をお願いに行くだけでも責任を背負って臨まれ、背筋が伸び、普段とはまた違う姿を見せてくださっています。仕事を終えて戻る車内では、「緊張したわ」等と話され会話が弾み、私たちもそんなご利用者の姿を見て新たな発見をしています。まだ始まったばかりですが、私たちはこれからも良き隣人（ネイバース）であり続けます。

あかり苑・あゆみ

グループホーム あかり苑

グループホームあかり苑は四方を豊かな自然に囲まれた、四季の移ろいを肌で体感することが出来る環境に立地しています。認知症のご利用者が家庭的な雰囲気の中で、自分らしい生活を送ることができます。ご利用者各々の生活歴や時代背景に注目して、過去に体験したことがある役割をスタッフと一緒に行っていただきます。また、地域に開かれた、地域の認知症専門ケアの拠点となれる施設づくりを目標としています。



積極的な地域との交流を

グループホームあかり苑では積極的に地域との交流を行っています。ご利用者と職員がグランドゴルフ大会や餅つき大会などの地域の活動への参加や、グループホームと地域住民が協力してお祭り等のイベントを企画しています。吉河地区子供会の廃品回収にはご利用者と職員が年2回参加し地域の方々と一緒に汗を流しています。また、恒例となった東郷地区とうごう縁日には実行委員として企画の段階から参加し、地域のお子さん方と協力してかき氷の屋台を出店運営しています。加えて、ご利用者が地域の一員であることを認識していただくために生地へのドライブ等、馴染みの場所を訪れたり、ご家族や近隣の馴染みの人に会うための外出も個別に企画しています。

小規模多機能型居宅介護事業所 あゆみ

近年、人口減少や少子高齢化に伴い高齢者の単身世帯の増加が進んでおります。現在、あゆみ登録者のおよそ7割が高齢者一人暮らしです。施設への通い、短期間の宿泊、自宅への訪問を組み合わせ、多様化するニーズに対して関係機関や地域の人とのつながりを大切にして、本人の有する能力を最大限に発揮することで、その方々の在宅生活の維持とより豊かな暮らしの実現を目指しています。



ひとのために、ひととともに、地域とともに

私たちあゆみでは“ひとのために、ひととともに、地域とともに”をキャッチコピーとして3つのことに取り組んでいます。

- ① 生涯現役としていつまでも人のためにできることを継続されています。台所仕事や日曜大工などこれまで一家の役割として行ってきたことやグランドゴルフやあんまマッサージなど趣味や仕事としてやってこられたことを継続されています。
- ② 次世代の継承としてこれまで培ってこられた知識や経験を私たち職員へ伝授してください。ご利用者からの学びは人生のお手本であり、人生の道しるべとして職員の教育、成長に力をください。
- ③ これからも地域の一員として、地域へ存在感をお示しいただけるように、地区の祭りでは企画、運営から準備後始末まで参加して祭りの盛り上げに貢献されたり、地区のもちつき大会に参加して多世代の交流を行っています。

ひなた・いっぷく

グループホーム ひなた

認知症グループホームは介護保険制度と共に地域密着型サービスとしてスタートを切り20年が経過しつつあります。認知症の人のみを対象とする専門サービスであり、小規模で家庭的な生活環境のもと、食事の支度や掃除、洗濯など本人のできることや分かることに着目して職員と共同で生活をおくり、認知症の症状の改善や進行を緩やかにすることを目指す施設であります。ひなたでは、個別の入居者のペースで生活することを心がけ、おひとりおひとりの歩んでこられた時代背景や生活習慣を教わりながら、その人の生き方に目を向けた個別のケアを支援していきます。そして、地域密着型施設として必要な役割を果たし地域に貢献できる施設を目指していきます。



自分らしい「普通」の生活をしています。 ～私たちは「普通」の価値に気づきました～

認知症になったから、出来ないことが多くなるという、マイナスイメージを持つ人は少なくないと思います。しかし、認知症になっても、人のサポートがあれば、その人が思う自分らしい普通の生活を送ることができます。私たちは、その人にとっての「普通な生活」ということに着目しました。基本的に入居されているご利用者は、自宅で生活していたころと変わりなく、生活できるようにサポートしています。例えば、自宅と同じように食事を作る、洗濯をする、シートを交換する、買い物に出かける、地域の行事に参加するなど、当たり前の自由な生活が継続できるようサポートしています。認知症という病気の完治は現在の科学では困難となっています。介護職員として、ご利用者の認知症進行を遅らせることができるよう、日々関わっていく必要があります。ひなたでは、今後も入所されているご利用者が、より自由に自分らしく普通な生活が送れるよう、認知症に関する知識を高めることを目標としました。現在は、認知症に特化した認定を3名の職員が取得しており、1名の職員が習得段階となっています。今後も、職員が認知症という病気の知識を高め、ご利用者の普通な生活を守ることができるよう支援していきたいです。

小規模多機能型居宅介護 いっぶく

小規模多機能型居宅介護は2006年4月に介護保険制度改正により今後ますます増加が見込まれる認知症高齢者や中度の要介護高齢者ができる限り住み慣れた地域での生活が維持できるように、地域密着型サービスとして創設されました。当法人では2017年4月に立ち上げており、年間登録稼働率100%に極めて近い実績を毎年、維持してまいります。いっぶくでは令和6年度も引き続き、登録者に対し24時間365日支え、事業所内で完結させるのではなく、ご本人とご家族や知人、ご近所、社会とのつながりを維持して自宅や地域での時間を大切にしたい生活が送れるよう支援していきます。そして、地域密着型施設として必要な役割を果たし地域に貢献できる施設を目指していきます。



🌱 コーラス隊の結成（ひなぶくコーラス隊） ～理想の目標が現実～

取り組みを始めたきっかけは、「昼食前の口腔体操の時に歌っている歌ですが、人前で披露できますよね？」という職員からの一言でした。

私達の事業所では、口腔体操の一環として、毎昼食前に職員の伴奏（キーボード）に合わせ、ご利用者が懐メロや季節に応じた同様などを歌っています。曜日によって、ご利用されているメンバーは変わりますが、要支援1～要介護5までのご利用者が継続して口腔体操である歌唱を続けています。職員からご利用者達へ「合唱を聞いてもらえる機会があるといいですね」と提案し、ご利用者と職員混合のコーラス隊を結成することとなりました。活動内容としては、敬仁会グループ内のデイサービス事業所や夏祭り、家族介護の集い、児童発達障害者児施設等で披露しています。

介護保険を利用される高齢者は、自立を目標とし、事業所としては、その自立を支援することが求められています。要介護状態となった利用者様の中には、体力の低下や脳梗塞後遺症による言語障害、重度認知症などの持病等により、生活に目標を持つことを諦めている利用者様もいらっしゃいます。現在、コーラス隊に所属しているご利用者は、それらの障害があるにも関わらず、毎日「歌を歌う」という積み重ねで、ご利用者お一人お一人の自信に繋がり、「人前で披露する」という目標をもってコーラス隊で活動されています。活動を行う中でのご利用者からの声として「今度は、どんなところへ歌いに行くの？」「歌う機会を作ってくれてありがとう」という、歌に行きたいという意欲を感じられることもできてます。今回の取り組みは、理想としていたことが、目標となり、実行することで、ご利用者一人一人が前向きな気持ちになられたことが、大きな成果と感じています。今後は、他法人事業所や敦賀祭りなどの地域イベント等での講演を目標とし、ご利用者お一人お一人がチャレンジすることを楽しみに感じただけようよう支援していきたいです。

グループホーム まんさく

こんにちは。令和6年3月31に開所しました認知症グループホーム「まんさく」の紹介をさせていただきます。一人ひとりの想いを大切に、同じ空間にしながらも満足し合い自分らしく、どこか懐かしさを感じられる生活空間の実現を目指しています。まんさくは黒河ユニット・野坂ユニットに分かれ各定員が9名の合計18名が入居されています。未来へと繋ぐストーリーを皆さんと共に歩んでいきたいと思ひます。



🌱 まんさく庭園で地域の子供たちとの交流に

まんさく庭園が素晴らしく、入居者の皆様と共に沢山の夏野菜や、スイカ、メロン、サツマイモを植え収穫して一品料理やおやつに楽しんでいます。生え切った草をむしり、苗の水やり、野菜の収穫など最近の日課となっています。園庭での作業中に近所の子供たちがまんさく広場に遊びに来てくれます。子供たちの賑やかな声に入居者の皆様もこの時間を楽しみに待っています。地域の子供たちとの他愛もない時間、ひ孫のように可愛がり子供たちもここに来るのが日課となっているようです。入居者の皆様が「まんさく」での生活を誇りに思い、笑顔あふれる幸せな毎日のお手伝いをさせていただければと思います。

福祉サービス事業所 野坂の郷

野坂の郷 就労支援B型事業

野坂の郷が就労継続支援B型を始めてから20年が経過しました。設立した当初は、自閉症の方の利用が多かったことから、『見てわかる、一人できる』を支援方針に決めました。現在は、自閉症に限らず、様々な障がいや特性の方がご利用いただいています。『工賃向上』『特性に配慮した個別化された支援』『一人一人が活躍できる場所』を目標に掲げて、日々ご利用者の支援に取り組んでいます。また、「今はまだ自信がないけれど、将来的に一般企業に就職したい」という方の支援にも力を入れています。一般就職を目指すためには、いろいろな作業を経験し、得意不得意や自分にあった仕事内容、働き方を知る事が大切です。その経験の中で自己理解を深め、また野坂の郷での経験を活かし、一般就職された方がこれまでに何名もいらっしゃいます。



あなたに合った仕事

「どんな仕事が自分に合っているのだろうか？」障がいのある方にとって、自分に合った仕事探しはなかなか難しいことが多いです。野坂の郷では、施設内でのタル作りや洗浄作業、パンの製造販売、クリーニング事業、施設外での清掃作業、農作業など様々な作業を提供し、あなたにあった仕事を探します。

- ・パンの製造販売:製造したパンを、保育園、学校、イベントなどに販売に出かけます。
- ・タルの組立作業:敦賀のお土産「小鯛のささ漬け」の容器のタルの組立作業です。
- ・ブラマール作業:「部品に巻き付いているガムテープをはがす→薬品で磨く→水洗い→乾燥する」作業です。
- ・その他、田植えの時期・稲の収穫の時期には、苗箱の洗浄やもみ殻の袋詰め作業、お中元とお歳暮の時期には、一般の企業様から約30,000件のダイレクトメールの封入作業も行い、また、昨年度より、クリーニング事業や施設の清掃業務を行っております

野坂の郷 生活介護事業

利用者の方々の障害程度に合わせて、食事、排泄等の介護を行うとともに、創作的活動や個別のスケジュールに基づいて外食レク、カラオケレク、ドライブなどを行いながら、毎日を楽しく過ごしたいと思っています。人は、楽しいときに自然と笑顔になります。そんな笑顔をたくさん見れる居場所を作っていきます。



楽しさ 100%を目指して

野坂の郷には、自閉症の方が多く通っておられます。その障害特性に配慮した支援は当たり前ですが、生活介護事業は、楽しい笑顔が沢山みられる、そんな場所になって欲しいと思っています。そのために、ひとりひとりの楽しみを沢山、沢山見つけていきます。

🌱 ひとりひとりに配慮したタイムスケジュール

生活介護に通う方の意思決定を的確に読み取ることは、簡単なことではありません。まず、本人の行動観察や生い立ちを家族からお聞きし、どういう障害特性があるのかをアセスメントすることから、始めなければなりません。そして、1日のタイムスケジュールを作成していくのですが、活動をやってみて、本人に合うかどうか見極め、振り返りを行い、また活動し振り返る。このことを繰り返しながら、ひとりひとりに合ったタイムスケジュールを作成していきます。

相談支援事業所 フラット

生まれ育った地域において、一人一人の夢や想いをかなえていくために、相談支援を通して色々な人との出会いやサービス、社会資源との架け橋となるように努めます。また、地域で自分らしい生活をしていくために、相談支援を通して支えていきます。



信頼関係を築く

日々の困りごとや悩みだけでなく、相談者の人生における楽しいことや喜び等も含め、どんな些細なことも話し合える関係構築を心がけます。また、常に利用者を気かけ、信頼関係を築き上げていくことができるように努めます。



寄り添った支援内容

- ① サービスを必要とする方やそのご家族からの相談に応じて、福祉サービスやその他の社会資源の紹介や見学同行等を行います。
- ② 障害者通所支援事業所等の利用を行うことができるよう、「サービス等利用計画・障害児支援利用計画」の作成を行います。
- ③ 障害者通所支援事業所等との連携及び担当者との会議を行います。
- ④ 障害者通所支援事業所等の利用状況や社会生活、家庭生活の状況を一定期間ごとにモニタリングを行い、相談援助を行います。
- ⑤ 各関係機関との連携を行い、ご本人やそのご家族の抱える悩みや不安に対して相談支援を行います。



敦賀市立子ども発達支援センター パラレル

当センターは、敦賀市の指定管理者制度により社会福祉法人敬仁会が管理運営を行っている療育施設です。敦賀市内にお住いの障がいのあるお子さんや発達に気かりのあるお子さんが遊びや活動、療育を通して、日常生活に必要な動作方法や集団生活の力をより伸ばしていくことを目的とした施設です。関係機関と連携し、ご家族が地域で安心して豊かに生活を送ることができるように支援をします。



子供の自立に向けて

パラレルでは児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・障害児相談支援の事業の中でお子さんに応じた支援をしています。「療育」と聞くと硬いイメージを持たれる方も多いと思いますが、決してそんなことはなく遊びの中で発達を促すお手伝いをしています。身体動かし、手先をたくさん動かす遊びはしっかりとした身体の手台をつくり、コミュニケーションの幅を広げ、身辺自立や生活能力の向上に繋がります。そんな「出来た！」「嬉しい！」「楽しい！」の経験が、自己肯定感を伸ばし、一人一人のお花を咲かせてくれます。

パラレル 児童発達支援事業

児童発達支援事業では、就学前のお子さんを対象に、お子さんの特性に合わせた日常生活における基本動作の習得や集団生活への適応動作の訓練を行います。ご家族の「できるようになって欲しい」という思いに寄り添いながら、一人ひとりの子どもが持つ今の力を大切に、その願いに少しでも近づいていくことができるように支援をしていきます。また、小さな力の獲得の積み重ねを行い、ご家族の大きな願いに向けて「少しの変化」を見逃さず、お子さんの次なる発達につなげていけるように、遊びや活動をはじめとした様々な療育の提供と運営を行います。



家族を含めたトータルな支援

個々のお子さんの発達ニーズ等に合わせ、集団療育、個別療育を選択または組み合わせ提供し、それぞれの集団における療育の目的・目標を明確にして、年齢やお子さんの発達ニーズに寄り添った形で提供を目指します。また、多様化する社会生活の中でも、ご家族が安心して生活していくことができるように、保護者支援にも力を注いでいきます。



パラレル 放課後等デイサービス事業

放課後等デイサービスでは、小学生～高校生までの幅広い年代の子どもが通所しています。療育の目的でもある、集団生活をはじめ日常生活に必要な力など、様々な生活能力の向上に向けて、環境づくりも大切です。パラレルでは、次の環境づくりを意識して、少人数のグループをつくり、療育を実施しています。

- ① 同じ年代の子と一緒に活動や遊びを楽しめる環境をつくる
- ② 活動や遊びのルールやマナー、友達とのかかわり方について学びやすい環境をつくる
- ③ 一人ひとりに合わせた丁寧な支援やかかわりができる環境をつくる

基本的な支援として、「見通し」「コミュニケーション」「視覚的な手がかり」「環境設定」を大切にしています。「見通し」については、お子さんに合わせたスケジュールを作成しています。「コミュニケーション」は自分のこと（気持ちや思い）を表現する練習として、体調確認ボードを使って、体調確認を行なっています。また、活動場所は、友達と“仲良く楽しく”取り組めるよう、「視覚的な手がかり」を使って、遊び方やルールを具体的にわかりやすく伝えています。



ライフステージに応じた支援

紹介した写真は、昨年開通した新幹線を見にいったときの1枚です。普段は5～7人の小グループで色んな活動に取り組んでいます。長期休みには、いくつかのグループが一緒になって活動に取り組む機会をつくっています。普段の小グループでの取り組みが、大きな集団になっても生かされており、子どもたちの成長を見ることができています。こうした小さな成長を保護者の方とも共有しながら、次のライフステージにつなげていければと考えています。

パラレル 保育所等訪問支援事業

障がいのあるお子さんが健常児と共に集団生活を営む施設（保育所、幼稚園、学校など）を訪問し、その施設にてお子さんが安心して集団生活を送ることができるように、直接支援や各施設の職員と連携して支援を行います。

保育所、幼稚園を利用していくお子さんについては、初めての集団生活ということもあり、日常生活から行事への参加方法などにご家族、本人ともに不安を抱えるケースが少なくありません。そのため、各施設職員やご家族、また、その関係者と連携を取りながら支援を行います。学校については、オープンスクール等を利用しての授業見学や必要に応じてケース会議の実施をするとともに、障がいの特性等やその対応方法についてのアイデアの提案を主として行っていきます。



障害児相談支援事業



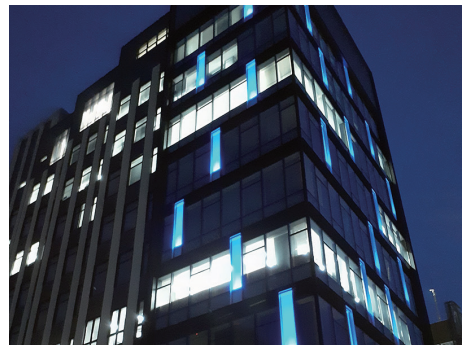
心配ごとと一緒に考え、解決へ

障がいのあるお子さんや発達に気がかりのあるお子さんを中心に保護者からの相談に応じ、障害児通所支援（児童発達支援、放課等デイサービス及び保育所等訪問支援）等を利用する際には「サービス等利用計画・障害児支援利用計画」を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の相談支援を行います。また、ご家族や本人の抱える困りごとや悩みについて一緒に考え、関係機関と連携しながら解決に向けて支援します。

福井県発達障がい児者支援センター スクラム福井

スクラム福井 発達障害児者支援

福井県発達障がい児者支援センタースクラム福井は、福井県にお住いの発達障がい（自閉症スペクトラム障がい、学習障がい、注意欠如多動性障がい等）のある方と、そのご家族が、安定して地域で生活出来るように支援するセンターです。利用できる方は、福井県にお住いの発達障がいのある本人と、家族、及び、関係機関等です。乳幼児期のお子さんからご年配の方まで、幅広く相談に応じております。



福井県自閉症啓発デー ブルーライトアップ&講演会

毎年4月2日は、世界自閉症啓発デーとして、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みを行っています。さらに毎年4月2日から8日は、発達障害啓発週間として、発達障がいについて社会全体の理解を進めるため、各地でシンポジウムの開催やランドマークライトアップ等の啓発活動を行っています。発達障がいについて知ってもらい、理解して頂くことは、当事者だけではなく、誰もが幸せに暮らすことが出来る社会の実現に繋がると考えています。スクラム福井でも、多くの方に正しい理解と認識を深めて頂くため、福井駅西口広場、福井織協ビル、坂井市ゆりの里公園でライトアップを行いました。また4月6日には、鳴門教育大学から先生をお招きし、発達障がいに関する講演会を開催いたしました。

福井県小児慢性特定疾病児童等自立支援相談所

平成27年10月1日に、福井県（主管課：福井県健康福祉部保健予防課）より委託を受けて開始しました。福井県総合福祉相談所の中に事務所を設け、自立支援員を1名配置しています。相談の対象は、年齢18歳までとなっています。対象となる疾患は、開所当初14疾患群704疾病でしたが、その後も制度の見直しが継続的に行われ、現在は16疾患群788疾病となっています。疾患の種類が多いため、相談を受けて初めて知ることなども少なくありません。その場合はすぐに疾患について調べるとともに、保護者に寄り添い、保護者と共に子どもの成長を考えるという姿勢を常に大切にしています。



小慢相談所の事業内容をご紹介します！

- 自立支援員による相談受付（随時）
疾病や生活、進学や就労などの不安や悩みについて、電話や面接で相談に応じます。県内各保健所で巡回相談を行うこともあります。
- 医師による相談会（予約制・無料）
小児科医による相談会を行っています。修学や治療のこと、学校などへの疾患の伝え方、放課後等デイサービスの利用などについて、お気軽にご相談ください。
- ミニ交流会カフェの開催（予約制・無料）
お子さんが同じ疾病を持つご家族が集まって、生活や悩みなどについてお話し会を催しています。
- 保護者交流会
医師や学識経験者による資料・療育などの講演、小児慢性特定疾病児童の保護者による子育て体験の講演を行っています。

神宮前ぽっぽ

神宮前ぽっぽ 保育園

当園はこども家庭庁の「企業主導型保育事業所」で、建物基準、運営基準は認可保育園と同等であり、安心・安全な保育に努めております。定員は50名です。当園の特徴として、手ぶら保育の実施、食のアドバイザーによる給食・食育の充実を図っております。入園対象年齢は、0歳児（首すわり）～5歳児（小学校就学まで）、365日開園しており、開所時間は、7:00～20:00です。



子ども主体の保育

一日の始まりは作戦会議。「今日は何しよっか。」と話し合い、歌を歌ったり、体操もして準備万端。さあ!! 探検に出発。

当園は、保育＝「歩育」を目指し、歩くことにより身体の成長の基礎を作ると共に、探検の道中や目的地では、季節を感じながら自然の中で存分に遊びます。市内にある公園や、気比神宮等に出かけ、見る、聞く、触る、試す、挑戦する等、保育士は遊びが発展するような環境作りを行い、個に応じた声掛けや見守りをします。保育士主導ではなく、「子ども主体」の保育に取り組んでおります。低年齢児はどんぐりやダンゴ虫探しに夢中。時には、ママへのお土産に・・・3歳以上児は、ジャングルジムやうんていに挑戦。豆がつぶれても平気・・・これからも子どもたちと共に、「神宮前ぽっぽの暮らし」を作り上げていきたいと考えます。

神宮前ぽっぽ 放課後等デイサービス

神宮前ぽっぽ 放課後等デイサービスは、県内でも珍しい保育園に併設している障がいのあるお子さんと発達に気かりさのあるお子さんが、様々な遊びや活動、療育を通して、日常生活に必要な動作方法や集団生活に必要な力をより伸ばしていくことを目的とした施設です。

お子さん一人ひとりの遊びを豊かにすることや将来の自立に向けた力を伸ばしていくことを目標とし、ご家族が安心して生活を送ることができるように、職員一丸となって日々支援を行っています。



将来、自立を見据えた支援

一人ひとりのお子さんの将来の姿を意識し、自立に向け、買い物体験や公共交通機関を利用した乗り物体験、カラオケ等、お金を使う活動を取り入れ、「お金の使い方」や「支払い方法」、「お金を使うことでより充実した余暇を過ごすことができる」等、将来働いてお金を得ることの意味や必要性を学び、将来の就労につながっていくことができるように支援をしています。

個々に合わせたスケジュールや手順書等を作成することで、初めは支払い方法が分からなかったお子さんも、経験を重ね、自分で注文・お金の支払いができるようになってきました。

このような取り組みは、自立に向けた必要な力を育むだけでなく、達成感や自己肯定感を高めることにも繋がるため、今後も様々な体験や経験ができる機会を提供し続けていきたいと思っています。

歯科診療所 ななクリニック

歯科診療所ななクリニックの院長、櫻井は福井県で最初に歯周病認定医を取得し、その後さらに高度な技術を認められ、福井県で最初の歯周病専門医に認定されました。その資格を維持していくには相応の研鑽を積みながら高度な歯周病治療を継続して行なっていくことが求められます。今回、学術大会において、日頃の臨床手技についての発表を行いました。発表に対し、日本歯周病学会より感謝状が送られ、今後もより良い治療の提供をしていけるよう邁進していきたいと考えております。



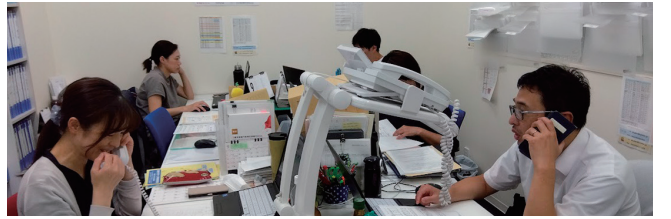
令和6年度 歯科診療所ななクリニック事業報告

今年度の特徴としては、医院が8年目を迎え、治療を求めて来院していただくことはもとより、予防に努めていくことの大切さが浸透してきたことによりメンテナンスを目的に来院してくださる方の増加があげられます。これは当院の方針をより理解して来院してくださっているためとも考えられます。一方、本年度はメンテナンス数の年々の増加によりメンテナンスの予約枠も空き待ちとなり、急なキャンセルへの対応など無駄の少ないアポイントへ改善していくことが必要となってきたことを実感しています。訪問診療に関しては、往診時に気になっていた口腔ケアに関する改善点を介護施設職員向けに研修を行うことで共有し、日頃感じている当院スタッフの思いを介護現場職員に伝えることができ、貴重な機会となったかと思えます。本年度も幸い多くの外来患者さまに来院していただき、患者さまの期待に添えるような最良の医療を目指した治療を提供できたと自負しております。外来患者予約の混雑解消を含め、訪問診療に関しても迅速な対応が行き届かなかった点は今後の課題と考えております。



敬仁会 介護相談センター

敬仁会介護相談センターは、介護に関する「わからないこと」「不安なこと」をサポートさせていただく部署です。大切なご家族が、安心して在宅での介護を受けられるよう、必要な手続きやサービスの調整を行います。ご利用者一人一人の状況に合わせ、アセスメントと専門知識をもとに対応いたします。男性2名、女性5名の事業所で、様々な基礎資格をもった職員がそろっています。お気軽にご相談ください。



病院との連携を密に実施

当事業所は、敦賀市内の主要病院との連携を密にとっています。ご利用者の入退院時の連携はもちろん、必要に応じて通院時に同行したり、主治医の先生に意見を求めたりしながら、ご利用者のサポートを行っています。高齢者にとって、病院は切っても切り離せない存在です。そんな病院との連携を密にとることで、ご利用者の不安に少しでも寄り添える事業所を目指します。

「特定事業所加算」を算定！質の高いケアマネジメントを実施

当事業所は、令和5年6月より「特定事業所加算」を算定しています。「特定事業所加算」とは、中重度者や支援困難ケースへの対応、専門性の高い人材の確保など、公正中立で質の高いケアマネジメントを実施している事業所を評価する加算です。ご利用者や家族にとって最善のサポートができるよう、部署内でのミーティングも頻繁に行い、職員一人一人の専門性の向上に努めています。



敬仁会 法人本部

法人本部は、理事会の意思決定に基づき、法人全体の各事業の計画的な進行管理を行っています。具体的には財務部門による予算・決算等財務管理、人事部門による採用活動や職員教育、広報活動、総務部門による各種申請業務や各事業所間の業務調整など多岐にわたります。様々な業務を通して、法人内の各事業所の運営を支援し、法人の利用者の方と働く職員のサポートをしています。



若手職員による福祉の魅力発信

当法人の若手職員が福井県社会福祉協議会主催の「就職内定者応援セミナー 2024」に講師として参加しました。高齢者・障がい・児童の各分野から入職2年目までの若手職員が1名ずつ参加し、福祉業界への就職が決まっている学生さんたちに先輩として色々な体験談を対談形式でお話させていただきました。敬仁会では様々な機会でも福祉の魅力を発信させていただいています！



フィリピン現地面接会

当法人では青池学園とタイアップしフィリピン留学生を受入れています。当法人が奨学金を貸付し、若狭医療福祉専門学校で介護を学び、卒業後当法人に入職するというプログラム。令和7年3月には4名の方が無事同校を卒業し、4月当法人に入職しました。令和6年度末現在で当法人に将来入職予定の学生が11名。写真は令和5年8月フィリピンでの現地面接会の様子です。



☑ 未来へつなぐストーリー

子を持つ お母さん・お父さんが、 働きやすい環境を考え 続けること

産休・育休等取得の権利は、そもそも法令で認められているものであって、「わが社は、職員にしっかりと産休・育休を取っていただいています」と言ってもそれは、働きやすい環境を整えているとは言えません。



産休・育休等に対する 職員の意識改革

当時の施設長は、産休・育休に対する当たり前の考え方を職員に持ってもらうように訴え続けました。妊娠はめでたいことであり、妊婦さんに対しては、心身共に気遣ってあげるのが当然であり、みんなで支えあうことが大切なこと。育児のために時間を使う大切さを理解すること。つまり、子を産み育てることにに対して理解しみんなで支えるという空気を職場に浸透させること。今となっては当たり前のことかもしれませんが、当時の介護施設としては相当先進的だったのではないのでしょうか。



働きやすい環境とは

昭和 60 年開設の当法人ですが、開所当時は、妊娠された職員に対し、重いものを持つ等の作業をしないよう・夜勤を免除するよう配慮したところ、ごく一部の職員から「不公平ではないか」という声があがったそうです。それを聞いた当時の施設長は愕然とし、職員の意識改革に乗り出しました。



家族ファーストを 会社も同僚も応援

授業参観、運動会、入学式等の学校行事や、お子様の病欠時などの「子育て大変あるある」に対しては『おたがいさま』の精神が浸透しています。法人設立から 30 年以上経過し、子育ての大変な時期を乗り越えた職員がたくさんいます。会社だけでなく同僚もあたりまえのこととして子育てを応援する風土がある、それが敬仁会です。もちろんお子様以外の家族都合のお休みも支援します。

職員の意識は法人文化に

今となっては、職員の「おたがいさま」の精神は、法人文化にまでなった感があります。法人としては、これからも、職場環境整備を子育ての観点、福利厚生観点、職員育成の観点から考え続けていきます。

2022 年、職員が 「本当に自分の子を預けたい」 保育園の開設

職員が安心して働けるよう託児所をつくる計画は長い間検討されてきました。しかし、規模の小さい託児所・保育園をつくっても、職員が本当の意味でそこに子を預けたいだろうか・・・という疑問が付きまといました。

この時に私たちの追い風となったのが国の「企業主導型保育事業」です。5 年ほどの検討期間・準備期間を経て、その間、保育に精通した様々な人との出会いもあり、ここに定員 50 名、対象年齢 0 ～ 5 歳、365 日・7 時～ 20 時営業の神宮前ぼっぼ保育園を開所することができました。



☑ 令和6(2024)年度 法人決算報告

事業活動計算書		(令和6年4月1日～令和7年3月31日 / 単位：千円)				
		勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,802,363	1,658,313	144,050	
		老人福祉事業収益	82,027	57,355	24,672	
		保育事業収益	105,885	83,116	22,770	
		就労支援事業収益	12,517	13,254	△ 737	
		障害福祉サービス等事業収益	298,462	264,494	33,968	
		医療事業収益	78,771	82,814	△ 4,043	
		その他の事業収益	180	108	72	
		その他の収益	3,900	3,285	615	
		経常経費寄付金収入	1,373	2,212	△ 839	
		サービス活動収益計 (1)	2,385,478	2,164,949	220,528	
	費用	人件費	1,525,671	1,450,615	75,056	
		事業費	297,648	285,893	11,755	
		事務費	204,486	207,738	△ 3,252	
		就労支援事業費用	16,822	14,911	1,911	
		利用者負担軽減額	2,152	1,827	325	
		減価償却費	184,262	158,505	25,757	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 52,568	△ 47,534	△ 5,033	
		サービス活動費用計 (2)	2,178,473	2,071,955	106,519	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		207,004	92,995	114,010		
サービス活動外増減差額の部	収益	受取利息配当金収益	623	13	610	
		その他のサービス活動外収益	10,109	9,358	751	
		サービス活動外収益計 (4)	10,732	9,371	1,361	
	費用	支払利息	3,389	3,893	△ 504	
		その他の活動外費用	2,663	2,201	462	
		サービス活動外費用計 (5)	6,052	6,095	△ 42	
		サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)		4,679	3,276	1,403
		経常増減差額 (7)=(3)+(6)		211,683	96,271	115,413
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	11,374	63,434	△ 52,060	
		特別収益計 (8)	11,374	63,434	△ 52,060	
	費用	長期貸付金支出	0	0	0	
		積立資産支出	11,374	63,434	△ 52,060	
		その他の活動による支出	163	7,748	△ 7,585	
		特別費用計 (9)	11,537	71,182	△ 59,645	
特別増減差額 (10)=(8)-(9)		△ 163	△ 7,748	7,585		
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		211,520	88,523	122,997		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		2,714,583	2,626,060	88,523	
	当期末繰越増減差額 (13)=(11)+(12)		2,926,103	2,714,583	211,520	
	基本金取崩額 (14)		0	0	0	
	その他の積立金取崩額 (15)		0	0	0	
	その他の積立金積立額 (16)		11,000	0	11,000	
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)+(16)		2,915,103	2,714,583	200,520	

資金収支計算書					
(令和6年4月1日～令和7年3月31日 / 単位：千円)					
勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,738,440	1,802,363	△ 63,923
		老人福祉事業収入	78,500	82,027	△ 3,527
		保育事業収入	101,700	105,885	△ 4,185
		就労支援事業収入	12,050	12,517	△ 467
		障害福祉サービス等事業収入	293,177	298,462	△ 5,285
		医療事業収入	77,300	78,771	△ 1,471
		その他の事業収入	120	180	△ 60
		経常経費寄付金収入	570	1,373	△ 803
		受取利息配当金収入	2	623	△ 621
		その他の収入	6,526	14,009	△ 7,483
	事業活動収入計 (1)		2,308,385	2,396,209	△ 87,824
	支出	人件費支出	1,569,316	1,520,774	48,542
		事業費支出	316,352	297,638	18,714
		事務費支出	225,907	204,486	21,421
		就労支援事業支出	17,400	17,044	356
		利用者負担軽減額	2,860	2,152	708
		支払利息支出	3,490	3,389	101
		その他の支出	3,160	2,663	497
		事業活動支出計(2)	2,138,485	2,048,146	90,339
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		169,900	348,064	△ 178,164
	収入	施設整備等補助金収入	10,945	11,374	△ 429
		施設整備等収入計 (4)	10,945	11,374	△ 429
	支出	設備資金借入金元金償還支出	40,396	40,392	4
		固定資産取得支出	56,700	49,396	7,304
		その他の施設整備等による支出	100	55	45
施設整備等支出計 (5)		97,196	89,843	7,353	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 86,251	△ 78,469	△ 7,782	
収入	長期貸付金回収収入	6,300	6,380	△ 80	
	積立資産取崩収入	7,880	10,974	△ 3,094	
	その他の活動収入計 (7)	14,180	17,354	△ 3,174	
支出	長期貸付金支出	15,000	14,616	384	
	積立資産支出	22,884	26,613	△ 3,729	
	その他の活動による支出	870	163	707	
	その他の活動支出計 (8)	38,754	41,392	△ 2,638	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		△ 24,574	△ 24,039	△ 535	
予備費支出 (10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)		59,075	245,556	△ 186,481	
前期末支払資金残高 (12)			1,293,181	△1,293,181	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		59,075	1,538,737	△1,479,662	

資産の部						
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末
流動資産	1,605,812	1,401,440	204,372	流動負債	138,659	180,439
現金預金	1,280,263	1,073,671	206,592	事業未払金	57,300	88,442
現金	1,772	1,873	△ 101	1年以内返済予定借入金	39,760	40,392
預金	1,278,491	1,071,798	206,693	預り金	14	23
事業未収金	321,593	310,114	11,479	職員預り金	9,261	19,515
未収補助金	549	14,152	△ 13,603	仮受金	178	179
原材料	322	100	222	賞与引当金	32,146	31,888
立替金	792	312	480	固定負債	250,314	285,435
前払金	1,179	1,024	155	設備資金借入金	156,945	196,705
前払費用	983	1,884	△ 901	退職給与引当金	93,369	88,730
仮払金	132	182	△ 51	負債の部合計	388,973	465,874
固定資産	2,714,118	2,825,063	△ 110,946	純資産の部		
基本財産	1,871,832	1,983,850	△ 112,018	基本金	296,711	296,711
土地	464,238	464,238	0	基本金	263,631	263,631
建物	1,406,594	1,518,612	△ 112,018	第一号基本金	15,700	15,700
定期預金	1,000	1,000	0	第二号基本金	17,380	17,380
その他固定資産	842,285	841,213	1,072	国庫補助金等特別積立金	708,142	749,335
土地	116,760	116,760	0	国庫補助金等特別積立金	708,142	749,335
建物	379,549	400,117	△ 20,568	その他の積立金	11,000	0
構築物	49,339	54,730	△ 5,390	備品等購入積立金	2,000	0
機械及び装置	12,478	8,271	4,207	修繕積立金	9,000	0
車輛運搬具	11,903	17,518	△ 5,615	次期繰越活動増減差額	2,915,103	2,714,583
器具及び備品	119,794	113,390	6,404	次期繰越活動増減差額	2,915,103	2,714,583
長期貸付金	25,399	17,162	8,236	(うち当期活動増減差額)	211,520	88,523
退職給付引当資産	93,369	88,730	4,639			
差入保証金	17,252	17,197	55			
その他の固定資産	5,441	7,336	△ 1,895			
備品等購入積立資産	2,000	0	2,000			
修繕積立資産	9,000	0	9,000	純資産の部合計	3,930,956	3,760,630
資産の部合計	4,319,930	4,226,503	93,426	負債及び純資産の部合計	4,319,930	4,226,503

役員名簿

役職名	氏名
理事長	神谷 敬一郎
常務理事	櫻井 誓行
理事	神谷 保男
理事	有馬 聡一
理事	刀根 莊兵衛
理事	竹内 桂一
理事	福田 晋介
理事	渡辺 一郎
理事	山本 等
理事	土屋 尚樹
監事	新納 孝美
監事	河下 壽夫

評議員名簿

役職名	氏名
評議員	壁下 恒和
評議員	笠原 由和
評議員	鹿山 八重子
評議員	中野 明男
評議員	田保 英二
評議員	寺川 幸江
評議員	藤井 忠男
評議員	山本 健太郎
評議員	岸本 佳久
評議員	高橋 佳文
評議員	山崎 清美

期末職員数 407名

【内訳】			
	男性	女性	計
常勤	64名	188名	252名
非常勤	21名	134名	155名
計	85名	322名	407名

☑ 寄付等 令和6年1月1日～令和7年3月31日まで

溪山荘

< 物品・金品寄付 >

水上 咲百合 様
霏野 郁夫 様
神谷 多代美 様
水上 晴男 様
山本 昭 様
山本 寿美子 様
西村 泰弘 様
高橋 祐子 様
江南 恵子 様
木戸 春美 様
藤原 広子 様
高木 均 様
鳥羽 満 様
岡平 太一郎 様
岡本 久子 様
水上 由花里 様
土屋 尚樹 様
澤田 富美代 様
高橋 佳文 様
若林 幸代 様
山口 英樹 様
増田 佳子 様
辻 敏子 様
福島 武美 様
内山 利文 様
岡田 克志 様
林 恵美子 様
戸倉 まゆみ 様
宮本 いずみ 様
市村 リツ子 様
栗原 秀樹 様
森田 陽子 様
宇野 京子 様
田辺 とよ子 様
嶋田 千鶴子 様
江南 新太郎 様
濱本 秀行 様
平山 徹 様
右近 尚子 様
眞木 祥子 様
橋本 薫 様
濱上 千寿穂 様
吉川 月嬌 様
笠島 敦子 様
浜川 幸夫 様
生見 悦子 様
沢田 良夫 様
杉原 久美子 様

岡本 和美 様
中村 晃 様
慶秀 和江 様
伊原 富士子 様
板山 英信 様
縄手 しのぶ 様
谷川 美智雄 様
野崎 淳一 様
田倉 勝修 様
雁子 光人志 様
福島 武美 様
早田 博美 様
鹿島 澄雄 様
坂口 良雄 様
中信 美智子 様
矢賀部 利恵 様
上田 美由岐 様
左近 雅彦 様
木村 孝之 様
西村 恵 様
鈴木 純子 様
奥田 利美 様
かなざわ あいこ 様
匿名 様
加藤 和美 様
上倉 由美子 様
淵田 房江 様
岩松 美智代 様
奥村 雅男 様
田中 恵子 様
小村 大輔 様
生松 晃 様
飯田 英司 様
向井 雅晴 様
松島 實 様
中出 陽一 様
松尾 幸男 様
西村 健吾 様
前川 智子 様
小杉 昌弘 様
森腰 ふさゑ 様
森井 みどり 様
山口 博 様
小西 豊 様
中澤 美穂 様
青山 初代 様
志賀 様
尾上 澄恵 様
田中 知子 様
谷口 様

中道 様
民生委員 筒井 様
東郷女性の会 様
(株)アポロレントール 様
福井トヨベツ(株) 様
菱機工業(株) 様
ビイエム キシモト 様
(有)読売新聞敦賀 熊谷慎也 様
真柄洗業株式会社 様
笠原 由和 様
株式会社 ウタ 様
酒井電機株式会社 様
ハートホール橋詰 様
(有)渡辺石油 様
福井県基準寝具株式会社 様
アスピカホール 様
泉ヶ丘薬局駅前店 南 雅継 様
(有)ドゥエンタープライズ 様
(株)家高 様

< ボランティア >
散髪 奥田理容 様
散髪 田中理容 様
散髪 高木理容 様
散髪 TAROHAHA 様

< 来訪・交流 >
介護実習 若狭医療福祉専門学校 様
お花見交流 敦賀市子ども発達支援センター
ハロウィン バラレル 様
夏季清掃活動 溪山荘家族の会 様
秋季清掃活動 溪山荘家族の会 様
奉仕清掃活動 北陸電力労働組合 様
介護体験 サマーボランティア
施設見学 社会福祉法人東の会 様

第2 溪山荘ぼっぽ

< 物品・金品寄付 >

古長 哲人 様
松井 三木雄 様
中平 嘉彦 様
中村 祐二 様
伊藤 和枝 様
山本 弘子 様
浜野 美恵子 様
岸田 晴夫・早苗 様
上山 恵美子 様
須井 たけ子 様
竹内 洋子 様
佐々江 以津美 様
川村 ちづる 様
増田 和重 様
津田 直子 様
山本 正徳 様
土山 博 様
北川 富久枝 様
枝澤 恵美子 様
林 智嘉 様
松井 一俊 様
塚原 弘純 様
奥村 憲司 様
大島 洋子 様
後藤 健一 様
水澤 修 様
川上 潔 様
渡邊 厚子 様
高田 啓子 様
渡邊 清美 様
一ノ瀬 勢津子 様
林 眞智子 様
横谷 加代子 様
清水 和佳子 様
家倉 千代子 様
鈴木 美佳 様
川嶋 直紀 様
山本 廣子 様
船井 正伯 様
佐久間 三容子 様
水澤 一 様
澤崎 泰広 様
上田 道代 様
雄鳥 文彦 様
加藤 みつ子 様
塚原 弘純 様
松本 啓子 様
野村 典子 様

服部 康昌 様
田中 奈緒子 様
柴田 茂生 様
中村 太一 様
かせ田 一宏 様
松本 幸雄 様
山本 美智子 様
明田 寛史 様
森下 淳子 様
松坂 かず江 様
笠原 由和 様
大曲 正二 様
塩谷 富美子 様
大和田 敏夫 様
田中 奈緒子 様
中谷 千枝子 様
土田 綾子 様
實澤 毅 様
福田 志保子 様
上田 道代 様
善木 則夫 様
川嶋 直紀 様
小坂 智香子 様
家倉 千代子 様
浜野 幸子 様
川嶋 佳紀 様
北尾 頼子 様
前田 和巳・貴子 様
高田 啓子 様
高橋 英世 様
山崎 美智子 様
春日野 克美 様
明田 光弘 様
永井 泰元 様
藪内 達郎 様
高橋 明世 様
橋場 育江 様
後藤 健一 様
伊東 智恵子 様
岸本 裕美子 様
山口 郁子 様
中川 孝子 様
清水 勝昭 様
船木 朝美 様
森北 淳子 様
法幸 直子 様
小林 儀信 様
真田 邦彦 様
川崎 和人 様
山村 喜久子 様
山田 耕司 様
山口 雅恵・郁子 様
前田 恵美子 様
小堀 様
おむすびや穂んのり 様
(株)アポロレントール 様

敦賀FC 様
(株)ジョブロード 様
メモリアルハウスはるか 様
ウタ商店 様
(有)読売新聞敦賀東部 様
高木理容 様
(株)エコシステム 様
ハートホール橋詰 様
酒井電機(株) 様
アスピカホール 敦賀 様
(株)渡辺石油 様
福井県基準寝具(株) 様
(株)カネト 様
泉ヶ丘調剤薬局 駅前店 様
(株)相木魚問屋 様
(有)ドゥエンタープライズ 様
(株)家高 様
金井自動車工業(株) 様

< ボランティア >
散髪 高木理容 様
夏祭り 敦賀翠乃会 様
夏祭り 気比太鼓保存会 様
夏祭り F☆キッズ 様
夏祭り 読売新聞敦賀販売所 様
夏祭り 敦賀高等学校 様
夏祭り 美方高等学校 様
夏祭り 敦賀気比高等学校 様

< 来訪・交流 >

実習 敦賀看護大学 様
実習 若狭医療福祉専門学校 様
実習 福井県医療福祉専門学校 様
実習 ニチイ学館 様
インターンシップ 仁愛女子短期大学 様
ホスピタルライブ 松尾 貴臣 様
見学 敦賀気比高等学校 様

第3溪山荘あおぞら

< 物品・金品寄付 >

松居 由美子 様

吉田 晴子 様

梶田 陽子 様

西村 久美子 様

千波 一夫 様

松木 一雄 様

山本 たつゑ 様

杉本 純子 様

玉井 豊子 様

大道 満恵 様

浜野 好美 様

増田 敦 様

高木 重子 様

池見 三枝子 様

深川 久美 様

中村 實 様

笠原 由和 様

渋谷 徳仁 様

高城 啓一 様

柴原 美佐恵 様

佐藤 貴志 様

吉田 きよ子 様

辻 様

吉田 真由美 様

榎本 由美子 様

岩崎 マサ 様

森 敦子 様

光友 紀博 様

仲村 雅美 様

岸本 康子 様

市川 政江 様

市村 勝 様

木谷 健二 様

平林 保子 様

藤井 礼子様

濱野 克則 様

小笠原 喜代子 様

榎谷 雅之 様

宮本 憲治 様

椿原 恵美子 様

島田 義明 様

岸本 敏郎 様

古市 謙三 様

飛鳥建設(株)北陸支店 様

(株)shift代表取締役 岡本 哲郎 様

(株)家高 様

富士フィルムBI福井(株) 様

(株)ヤクルト北陸 様

敦賀装設(株) 様

敦賀高等学校家庭科クラブ 様

(株)アポロレントール 様

株式会社 ウタ 様

(有)メディアノアール 熊谷 慎也 様

泉ヶ丘調剤薬局 南 雅継 様

株式会社 エコシステム 様

アスピカホール敦賀 様

ハートホール橋詰 様

福井県基準寝具(株) 様

(有)ドゥエンタープライズ 様

< ボランティア >

散髪 高木理容 様

散髪 奥田理容 様

< 来訪・交流 >

来訪 敦賀高校家庭科クラブ 様

実習 若狭医療福祉専門学校 様

実習 敦賀看護大学 様

あかり苑・あゆみ

< 物品・金品寄付 >

岸本 敏郎 様

加藤 亜紀 様

佐野 直美 様

坂下 輝子 様

栗津 里子 様

内野 哲也 様

平林 慎治 様

森永 薫 様

田辺 徳子 様

大塩 真知子 様

阪本 満 様

中西 英俊 様

山野 恵 様

杉原 久美子 様

河口 祥子 様

坂野 多恵子 様

腹巻 美奈子 様

中村 真澄 様

石川 博 様

花谷 芳樹 様

小林 直美 様

森 富美 様

(株)ウタ 様

泉ヶ丘調剤薬局 様

南調剤薬局 様

(有)ドゥエンタープライズ 様

< ボランティア >

散髪 さわと理容店 様

施設内草刈り 平林 慎治 様

栗津 里子 様

< 来訪・交流 >

かき水屋台出店 とうごう縁日 様

ひなた・いっぶく

< 物品・金品寄付 >

谷口 幸子 様

萩野 尚美 様

藤田 勇人 様

岩崎 マサ 様

渡辺石油 様

泉ヶ丘調剤薬局 様

澤 勝子 様

岸本 和義 様

一瀬 達宏 様

片岡 憲子 様

和田 健 様

中島 節子 様

岸本 拓哉 様

上原 祐子 様

岩田 ミノリ 様

浅野 和彦 様

中島 富美子 様

松坂 あさ子 様

吉川 正信 様

(有)ドゥエンタープライズ 様

< ボランティア >

傾聴ボランティア 聞こう会 様

いもづる会 様

< 来訪・交流 >

運営推進会議 民生委員 谷川 幸男 様

運営推進会議 民生委員 天野 美津子 様

運営推進会議 ケアサービス北寿 様

まんざく

< 物品・金品寄付 >

望月 ますみ 様

谷口 竜哉 様

清水 健治 様

幸丈 園美 様

平川 様

濱野 良幸 様

早田 尚人 様

田辺 徳子 様

今井 純子 様

佐竹 聖恵 様

佐藤 礼子 様

澤崎 智洋 様

熊崎 和江 様

中村 のぞみ 様

高江 千夏 様

三田村 環代 様

長谷川 嘉代 様

澤崎 晴彦 様

田中 きみ子 様

岡本 千代美 様

久留島 良人 様

藤本 和子 様

久保 典子 様

田辺 正行 様

小林 利恵 様

林 恵子 様

明治安田生命 様

(有)ドゥエンタープライズ 様

泉ヶ丘調剤薬局 様

< ボランティア >

散髪 川端美容 様

< 来訪・交流 >

交流 公文名夏祭り

交流 栗野スポーツフェス

来訪 見守り隊 様

公文名森下区長 様

公文名良方民生委員 様

(株)日比野設計

代表取締役会長 日比野 拓 様

執行役員 裏木 隆 様

野坂の郷

< 物品・金品寄付 >

日本基督教団敦賀教会 様

野坂の郷後援会 様

匿名 様

野坂の郷保護者会 様

福井県電気商業組合

敦賀支部 水上 昭夫 様

三木 秀夫 様

パラレル

< 物品・金品寄付 >

ゆうあい倶楽部 様

(株)アスフリーク 様

敦賀みなとライオンズクラブ 様

< 来訪・交流 >

交流 (株)アスフリーク 様

パティスリーウフ 様

シゲズキッチン 様

home sweet home 様

mishmash 様

703GO 様

Startin churro 様

Calme 様

もでな. 様

fufufu_yamamoto 様

季舎 様

平凡珈琲 様

こひる 様

aクレヨン 様

敦賀みなとライオンズクラブ 様

濱岡 博子 様

ボランティア体験 福井県立敦賀高等学校 様

ボランティア体験 敦賀気比高等学校 様

神宮前ぼっぼ

< 物品・金品寄付 >

高橋 優子 様

堂田 展江 様

川口 正人 様

山本 霸加 様

大江 麗菜 様

山崎 優子 様

木村 絢子 様

岸本 朋恵 様

林 友美子 様

小川 三恵 様

三河 容子 様

家高 香織 様

福井県基準寝具(株) 様

飛鳥建設(株)北陸支店 様

合同会社JOY CIRCUS 様

代表 河村 亜紀 様

(有)ドゥエンタープライズ 様

ななクリニック・法人本部

< 物品・金品寄付 >

福井トヨベツ 様

医療法人 保仁会 様

金井自動車工業 様

大鉄建機(株) 様

読売新聞 様

真柄洗業(株) 様

水嶋建築設計 様

福井銀行 様

日章土地 様

福井県基準寝具 様

(株)エコシステム 様

川口電気(株) 様

(有)ドゥエンタープライズ 様

飛鳥建設(株) 様